

小松工業高校 建築部、美術部のみなさん

こんにちは。震災後 小さな子供たちのために寒い中 素敵なパズルを作製していただきありがとうございます。

もうじき 2週間もすると2度目の3.11がやってきます。
あのときの揺れ、私は 研究所の6階から1階に向けて エレベータに乗った直後のことでした。
ゴオオオーともものすごい音とともにエレベータの箱が左右に大きく揺れ、壁にぶつかって振り子のように揺さぶられ どの階でもいいから止まってくれという思いの中 いくつかの階のボタンを押しましたが・・・パチパチとなって電源が切れました。真っ暗でシーンとしたエレベータの中でたったひとり。

しばらくすると 学生の声が聞こえました。
私の名前を呼びながらその声が近付いてきました。
エレベータの扉を開けてもらい 外にでました。
そのあとも 避難した広い駐車場はまるで絨毯が波打つようにうねり 見えているビルは大きく揺れ、アンテナは折れ曲がり・・・空には沢山のヘリが海に向かっていくのがみえました。今思えばそれがあの 13.8mの高さに及ぶ津波だったのです。
もっと大きな波になった 30mを超える津波を受けた地域（南三陸）にもみなさんの作ったパズルを提供していこうと思っています。

どうか この震災を忘れず この年に高校生だったこととともにその震災に君たちができる精一杯の支援活動を行ったことを 周りの多くのひとたちに知ってもらい 同時に減災、防災のことを再考してもらおうきっかけにしてもらいたいと思います
そして いつか 君たちが親になったときに 自分の子供たちへ話してください。パパの・・・ママの・・・素晴らしい行いを胸をはって話してください。

袖野先生との松島での出会いがこうして 沢山の被災地の小さな子供たちを笑顔にしてくれたこと それに賛同してくれ作業をしてくださったこと 本当に感謝でいっぱいです。

何かの折 仙台へ来ることがありましたら 東北大学へ訪ねてください。
そのときには こんなに復興しているんだと話せるように・・・

少しばかりの感謝の気持ちです。

どうか これからも お心をかけていただき これから進む道でも 活躍をして
くれるよう祈っています。

2013.2.25

東北大 成田文代

「小さなプロジェクト」～笑顔を繋ごう～

Smile makes smile